

令和 6 年 9 月 17 日現在

機関番号：13801

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2020～2023

課題番号：20H01564

研究課題名（和文）アジアにおける出生前検査と障害をめぐる実証的研究

研究課題名（英文）Prenatal Testing and Disability in Modern Asia: International Comparison

研究代表者

白井 千晶（SHIRAI, CHIAKI）

静岡大学・人文社会科学部・教授

研究者番号：50339652

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,400,000円

研究成果の概要（和文）：人工妊娠中絶の社会的位置づけ、宗教、出生前検査の利用状況が異なると考えられる東アジア、東南アジア、南アジアの9ヶ国（日本を含む）において、出産経験女性への量的調査（質問紙調査）と、医療者と女性への質的調査（インタビュー）との両面から検討した。量的調査は、日本、韓国、台湾、シンガポール、フィリピン、ベトナム、タイ、インド、ミャンマー、インドネシアを対象に実施した。質的調査は、上記からミャンマーをのぞいて実施した。また、比較のために、英語と中国語の調査票を用いることができるアメリカ合衆国、カナダ、英国、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド、中国においても量的調査を実施した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

出生前検査と障害の関わりを調査することによって、胎児および人口の「リスク」をめぐる政治的ダイナミズム（政府の人口政策と福祉政策）、経済的ダイナミズム（科学技術のグローバルな商品化）、文化や倫理（障害観、身体観や生命倫理、家族やジェンダーの役割や構造）の調和や衝突にアプローチできる。社会的には、日本のありようを相対化し、日本の今後の望ましい姿を検討する材料が得られる。

研究成果の概要（英文）：A quantitative survey of women who had given birth (questionnaire survey) and a qualitative survey of health care providers and women (interviews) were conducted in nine countries (including Japan) in East, South-East and South Asia, where the social positioning of abortion, religion and use of prenatal testing were considered different. The quantitative survey was conducted in Japan, South Korea, Taiwan, Singapore, the Philippines, Viet Nam, Thailand, India, Myanmar and Indonesia. Qualitative research was conducted from the above, with the exception of Myanmar. Quantitative surveys were also conducted in the USA, Canada, the UK, Ireland, Australia, New Zealand and China for comparison, where English and Chinese questionnaires could be used.

研究分野：社会学

キーワード：出生前検査 障害 アジア 人工妊娠中絶 生殖医療 生命倫理 生殖 ジェンダー

1. 研究開始当初の背景

近年、人の出生プロセスは生物医学モデルで認識され、医療技術や医薬品などの科学技術によって医療者にリスクマネジメントされるようになった。その背景には、リプロダクションの病理学化 (pathologicalization) と科学生物医学化 (techno/biomedicalization) および技術の商品化がある。リスクマネジメントをテクノロジーに頼る傾向があるならば、障害の対処においては、社会保障や障害者福祉を制度化する前に、NIPT など出生前検査による障害排除という、テクノロジーによる人口のリスクマネジメントが促進されるのではないかと。しかし、これまでの研究で、アジアの国・地域によって取り入れ方に違いがあることがわかっている。グローバル化の中でアジア諸国でも NIPT や超音波検査をはじめとする出生前検査が飛躍的に拡大している地域もあれば、そうではない地域もある。

2. 研究の目的

こうした違いは何によってもたらされるか、本研究は、アジアにおける出生前検査の導入や普及・非普及をめぐる政治、経済、技術、文化の葛藤や調和を調査研究するものである。

3. 研究の方法

出生前検査に関する先行研究は、欧米の近代的な個人観や、西洋的な社会制度を所与のものとしてきたのではないかと問題意識のもとに、本研究では人工妊娠中絶の社会的位置づけ、宗教、出生前検査の利用状況が異なると考えられるアジア9ヶ国(日本を含む)を選択し、医療者と女性への質的調査(インタビュー)と量的調査(質問紙調査)の両面から検討する。宗教や文化的背景、出生前検査の導入や普及・非普及のバリエーションを考慮して選択した国々の社会制度および障害観をはじめとする文化的側面を取り上げ、出生前検査の実施との関連性を比較検討することは、この検査をいかに位置づけ、どのような形で運用していくのか、という日本での議論に対して重要な示唆を与えるものと考えられる。

具体的には、表1に記載したように、NIPT や母体血清マーカー検査、羊水検査が実施・普及している国・地域と、していない国・地域を選択し、制度の背景となる宗教文化がいくつか比較できるように考慮した。それぞれの国・地域は、宗教だけでなく、政治体制、人口政策、保健医療システム、福祉政策、経済体制によっても特徴付けられる。遺伝学的検査の取捨選択を検討するために、妊娠中の健診や検査自体が普及していない地域ではなく、検査はしているが遺伝学的検査が選ばれていない地域を選択した。例えば、前科研調査の結果では、ミャンマー、フィリピンでは、現状では出生前遺伝学的検査はほとんど利用されていないが、少なくとも都市部では超音波検査が一般的に使用されている。

表1 類型別にみた本調査の対象国・地域

出生前遺伝学的検査消極的・中絶消極的	無宗教ないし仏教	日本
出生前遺伝学的検査実施あり・中絶可	無宗教ないし仏教	韓国、ベトナム、台湾、タイ
	多宗教	シンガポール、インド
出生前遺伝学的検査実施なし・中絶禁止	仏教	ミャンマー
	キリスト教	フィリピン

注：これらは単純に類型化できるものではないが、概念的見取り図として示した。

研究対象の出生前検査は、NIPT 等の出生前遺伝学的検査および超音波検査等の非遺伝学的検査を対象とする。なぜなら、例えばベトナム都市部では高額な NIPT の代替として偽陽性率、偽陰性率の高いダブルマーカー検査、トリプルマーカー検査がスクリーニングとして使用され、Thomas(2017)が、検査は「ダウングレード」されて通常の妊婦健診の検査に組み込まれると述べたことが実際に生じている。中国では NIPT で性染色体を検査することが禁止されているために、実際には的中しない(Chandrasekharan2014)、母体の唾液や尿によるスクリーニング商品が消費者に直接販売されている。フィリピンでは NIPT より精密超音波検査による胎児機能評価が普及している等、国・地域によって検査のありようが多様だからだ。

調査は、量的調査と質的調査の2本柱で進めた。

量的調査 出産経験がある女性を対象にしたアンケートを各国・地域の公用語に翻訳の上、WEB調査を実施した。内容は、各種検査経験と検査および障害に対する態度である。

質的調査 出産経験がある女性だけでなく、医療者、男性、検査会社等へのインタビュー調査を実施した。

4. 研究成果

(1) 第一次インターネット調査

対象国：日本、韓国、台湾、ベトナム、ミャンマー、タイ、シンガポール、フィリピン、インド
調査時期：2021年1月～2月

実査：WEB調査（調査会社に委託、公用語に翻訳、ダブルチェックして本研究メンバーによる確認をおこなって実施）

回答者：女性、出産経験あり、末子5歳以下、現在妊娠中の人をのぞく。年齢は当該国のモニター条件による。当該国の年代別出産数におおむね準じる。15歳以上、64歳以下。

割付：全土対象、各国の地域（省・県等）をブロック分けし、センサスの人口比で割付をおこなった。収入条件なし。

回答数：有効回答100人×9か国。回答内容が不良な回答者については、有効回答から除外するのではなく、調査会社が多めに取った予備回答者の回答を、回答内容の検討を経た上で差し替え、有効回答が各国100ずつになるように調整した。

表2 調査項目とカテゴリ

基本属性	年齢	地域	居住圏	世帯構成
	職業（自身・夫）	最終学歴	信仰（自身・夫）	エスニシティ
	暮らし向き	幸せ点数		
出産	出産回数	子どもの現在の年齢	子どもの性別	
末子の妊娠	妊婦健診機関種	受けた検査	受けたいか	勧めた人
	受けた理由	受けない理由	障害判明時相談	相談する理由
末子の出産	出産場所			
避妊	知識入手	避妊経験有無	避妊方法	避妊決定者
価値意識	価値観	科学観	子育ての目的	理想子ども数
	中絶の条件	身近な障害者	種別見通し	出生時の感情
検査、障害に関する自由記述				

質問によってエラー値を定めた質問がある。

倫理的配慮：本調査は静岡大学の人を対象とする研究倫理委員会の審査の承認を得て実施された（整理番号21-40）。人工妊娠中絶等については、考えを聞くのみとし、個人の経験は質問に含めなかった。回答者への倫理的配慮については、法制度や文化的背景が国・地域によって異なるため、研究メンバーで検討するとともに、実査委託会社および委託会社を通じて現地会社にも問題がないかを確認した。調査ページの冒頭に出産、宗教、民族に関連する質問を含むこと、個人を特定しないことを明示し、回答しないことや途中で中止が可能であることを示して、同意を得てから質問を表示する形式にした。

また、本研究にあたって、利益相反はない。

実査会社は、調査の倫理的観点から、請負者の業務を実施する拠点が情報セキュリティに関する国際規約である「情報セキュリティマネジメントシステム」(ISMS)の国際規格「ISO/IEC 27001:2013」および国内規格「JIS Q 27001:2014」の認証を取得していること。情報セキュリティ（個人情報保護を含む）の方針を示していることを条件にした。

(2) 第二次インターネット調査

第一次インターネット調査と同じ条件、同じ調査票を用いて、同じ回収数で第二次インターネット調査として、以下の国で調査を実施した。

2023年7月実施

英語を公用語とする国：アメリカ合衆国、カナダ、英国、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド、中国語を公用語とする国：中華人民共和国（中国）

2023年9月実施

新たに加えた調査対象国：インドネシア共和国

(3)インタビュー調査

質的に対象国の出生前検査への考えおよび経験、障害に対する考えおよび経験を捉えるために、調査デザインを揃えて、以下のようにインタビュー調査を実施した。

実施国：日本、シンガポール、インド、フィリピン、タイ、韓国、台湾、ベトナム、インドネシア

政治的情勢から、ミャンマーでの実施が困難となり、インドネシア共和国を対象国に加えた。

調査地の選定：都市部および非都市部（量的調査において地域を人口割付した考え方に準じる）

対象者：出生前検査や産婦人科医療に関わる専門家、障害に関する支援者・当事者・家族、出産経験女性や子育て経験者等

対象者の選定：出産経験女性は末子出産から5年以内を原則とする（量的調査に準じる）

対象者数：各国10名以上

倫理的配慮：静岡大学人を対象とする研究倫理委員会において承認された（20-32）。

インタビュー調査の結果の抜粋

【シンガポール】 結果 インターネット調査ではNIPT,羊水検査,コンバインド検査受検者の割合が9か国平均よりやや高かったものの同様の検査受検意向者はむしろ少なく,検査で妊娠継続の有無を決定することへの容認も平均以下であった。障害児養育を難しいと思う女性は比較的多く,過酷な競争社会がその背景にあるとインタビュー調査で指摘された。

考察 同国では妊婦への出生前検査に関する情報提供が医師に義務づけられており,それが検査実施率に関連し,またそれ故に妊婦の検査への理解度が高く,次回妊娠時に不必要と考えた検査を嗜好しなかった可能性が考えられた。同国では人生を左右するとされる小学校の卒業試験(PSLE)があり,そうした競争社会で障害児が暮らすことの困難さが女性の障害観に反映されていると思われたが,それが中絶の容認に必ずしもつながっておらず,更なる検討が必要である。

木村・白井・菅野(2023)「アジアにおける出生前検査の現状と障害への態度(1)-シンガポールの場合」日本母性衛生学会学術集会

【台湾】 結果 インターネット調査においては,胎児の重篤な疾病・障害が認められたときの人工妊娠中絶の許容度が高く,また障害児養育に関する負担感が大きかった。公的福祉もあるが,家族のケア負担が大ききことが背景として予想できた。加えて,現地およびインタビュー調査では,女性や医療者のテクノロジー利用の積極性や,自由選択の選好が確認できた。

考察 福祉制度,生命観,意思決定に対する態度,出生前検査の自由化,家庭役割などが複合的に台湾の出生前検査の現状を生み出している。一方で,インタビュー調査においては,胎児の重篤な障害が認められても妊娠を継続する意向も語られ,インターネット調査結果と自己の意思決定のありようは別であることが示唆される。他方,出生前検査等に関する制度的拘束もまた存在する。さらに,台湾においても「命の大切さ」という言説や,障害者からの発信や運動もあり,今後の分析が必要である。

白井・菅野・木村(2023)「アジアにおける出生前検査の現状と障害への態度:(2)台湾の場合」日本母性衛生学会学術集会

【タイ】 タイでのインタビュー調査では,大都市においては,NIPT受検経験がある人もいた。「タイは自由の国」と表現され,NIPTという検査に対する評価は,選択肢が増える,という言い方で支持する人が多かった。一方で,NIPTを妊娠第一期に性選択が可能な検査として語る声も聴かれ,タイでは実際にNIPTによる性選択(性選択による中絶)が社会問題にもなっている。

【ベトナム】 ベトナムでは,病院のホームページ等で,母体血清マーカー検査,精密超音波検査,NT検査,コンバインド検査,NIPT検査などが紹介され,いずれかを医師と相談して実施すると記載されていることもあるほど,出生前遺伝学的検査が一般的に利用されている。NIPT検査会社は主にアメリカの検査会社とベトナムの検査会社が実施している。

インタビュー調査では,都市部においては,母体血清マーカー検査やNIPT検査の受検者が少なくない。非都市部では,母体血清マーカー検査,NIPT検査を知らないと答える女性もいたが,NIPT受検経験者もいた。ダウン症候群の子をもつ女性は,次の妊娠の時にNIPTや羊水検査を受検したと語っていた。障害がある子どもの子育ては,公的福祉や公的教育,成人してからの居住支援や就労支援を受ける機会が限られており,祖父母への負担も大きいことから,障害がある子どもを複数育てることは現実的に難しいと回答していた。

【フィリピン】 結果 インターネット調査において,出生前検査の経験は9カ国のなかで低位~中位であった。障害のある子どもを育てる負担感は9カ国中最も低く,「障がいのある子は贈り物」など障がいのある子どもの受容感が高かった。他方でインタビュー調査では出生前検査に対する関心は低く,障がいのある子どもに対する福祉が十分でないことが医療者や児童施設関係者などから指摘された。

考察 フィリピンは避妊や新生児マススクリーニングへの取組が積極的なものに対して,NIPTなどの出生前検査は一部の病院で実施されていると思われる。出生前検査への関心がそれほど高くないのは,中絶という

選択肢が視野に入っていないからだと推察できる。障害のある子どもは家族で育てる、と女性たちは語っており、家族負担というより、受け入れる姿勢が見られた。その理由については親族および地域サポートも含めてさらなる検討が必要である。

菅野・木村・白井(2023)「アジアにおける出生前検査の現状と障害への態度:(3)フィリピンの場合」日本母性衛生学会学術集会

【インド】 地域、エスニシティ、学歴や経済的な階層によって、経験が全く異なることが予想されるが、インタビューを実施した中西部の都市において、インタビュー対象者は、母体血清マーカー検査と精密超音波検査を受検していたが、NIPTの受検経験がある人はごくわずかだった。経済的に受検することができるかどうか、支払い可能性によって、受検へのアクセスが規定されるだけでなく、医療者からの情報提供も、支払い可能性に影響されることがうかがえた。

障害児を育てることについては、ほとんどの女性が「育てることが難しい」と考えていると回答したが、当事者にとってスティグマになること、また、周囲の人から見たら、「コース(呪い)」に見えるのではないかと、ということが語られていたのが印象的だった。コースは、日常的に良く聞かれる言葉で、その人自身の意図とは関係なく発動する「不吉な」ものだと認識されている。障害が周囲の人から見たら「コース」に見えるのではないかと、という認識により、他者との関係性において、障害を持つ子供を育てられないと強く感じていることがうかがえた。

【韓国】 インタビュー調査では、信仰の有無によって、出生前遺伝学的検査への態度が全く異なっていた。しかし、障害がある子どもを育てることの負担感、社会的困難感については共通していた。

【インドネシア】 結果 インタビュー調査では非侵襲的出生前遺伝学的検査を受検したことがある人はいなかった。また、胎児の遺伝学的障害が判明した場合の想定質問では、中絶を選択肢として考えると答えた人はいなかった。胎児は神からの贈り物である、受胎からある日数で神から魂が吹き込まれると、信仰に基づいた理由が語られた。また、障害の多寡に関わらず、人は全て完全であるという信仰に基づいた人間観を語る人もあった。一方、フィールドワークやリサーチでは、インターネットで非侵襲的出生前遺伝学的検査の情報提供や検査の実施をする医療機関や、妊婦のニーズに応じて検査情報を提供する団体があった。ここでは、非侵襲的出生前遺伝学的検査ルーティーン化したスクリーニングとしてではなく、羊水検査等の確定できる検査の前の検査として考えられていた。

結論 中絶へのアクセスが想定されていない制度や文化のもとでは、非侵襲的出生前遺伝学的検査のニーズは限定的である。しかしグローバル化の中で、医療者や検査会社が検査の情報、知識、機会を持ち込み、特定のニーズに応じて検査が実施されることがある。

白井(2024)「インドネシアにおける出生前検査、人工妊娠中絶、障害への態度 - アジアにおけるありようの一例として - 」日本保健医療社会学会大会

5. 終わりに

本研究では、西洋社会における出生前検査受検をめぐる情報獲得と意思決定、障害に対する考えを所与のものとして、アジアにおける障害観と出生前検査のありようを捉えようとした。具体的には、人工妊娠中絶の社会的位置づけ、宗教、出生前検査の利用状況が異なると考えられる東アジア、東南アジア、南アジアの9ヶ国(日本を含む)において、出産経験女性への量的調査(質問紙調査)と、医療者と女性への質的調査(インタビュー)との両面から検討した。量的調査は、日本、韓国、台湾、シンガポール、フィリピン、ベトナム、タイ、インド、ミャンマー、インドネシアを対象に実施した。質的調査は、上記からミャンマーをのぞいて実施した。また、比較のために、英語と中国語の調査票を用いることができるアメリカ合衆国、カナダ、英国、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド、中国においても量的調査を実施した。

アジア9カ国を対象に実施した第一次インターネット調査は、各国の概要とともに、基礎的な集計をまとめた報告書を刊行した。第二次インターネット調査およびインタビュー調査についても、報告書や、学会報告、論文、書籍等で、引き続き成果を公開していく計画である。

出生前検査と障害の関わりを調査することによって、胎児および人口の「リスク」をめぐる政治的ダイナミズム(政府の人口政策と福祉政策)、経済的ダイナミズム(科学技術のグローバルな商品化)、文化や倫理(障害観、身体観や生命倫理、家族やジェンダーの役割や構造)の調和や衝突にアプローチできる。日本のありようを相対化し、日本の今後の望ましい姿を検討する材料を提起していく予定である。

参考

白井千晶、菅野摂子、木村美也子、松尾瑞穂、二階堂祐子、洪賢秀『アジアにおける出生前検査と障害をめぐる実証的研究: アンケート調査一次報告書(全体版)』

白井千晶、菅野摂子、木村美也子、松尾瑞穂、二階堂祐子、洪賢秀『アジアにおける出生前検査と障害をめぐる実証的研究 アンケート調査一次報告書(抄録版)』<http://hdl.handle.net/10297/00029190>

研究成果の公開情報更新は以下のサイトにて掲載予定 <https://testingasia.seesaa.net/>

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計50件（うち査読付論文 9件 / うち国際共著 6件 / うちオープンアクセス 9件）

1. 著者名 白井 千晶	4. 巻 73
2. 論文標題 里親の複数養育の現状と課題について：里親委託率の上昇に伴う今後のあり方	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 人文論集	6. 最初と最後の頁 A1～A17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.14945/00029388	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 佐野 敦子、菅野 摂子	4. 巻 39
2. 論文標題 ドイツの出生前検査における情報提供の課題：NIPT（Non Invasive Prenatal genetic Testing）の保険適用をめぐるアクティビストの語りから	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 東京大学大学院情報学環情報学研究．調査研究編	6. 最初と最後の頁 1～41
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.15083/0002007277	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 三枝七都子、武内今日子、石黒眞里、菅野摂子	4. 巻 -
2. 論文標題 母体保護法指定医師へのアクセシビリティ医療機能情報提供制度を用いた母体保護法指定医が配置されている医療施設の調査	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 国際ジェンダー学会	6. 最初と最後の頁 165-175
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 松尾瑞穂	4. 巻 -
2. 論文標題 サブスタンスの人類学に向けて	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 サブスタンスの人類学 身体・自然・つながりを問い直す	6. 最初と最後の頁 1-36
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuo, Mizuho	4. 巻 -
2. 論文標題 Introduction	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Life, Illness and Death in Contemporary South Asia: Living through the Age of Hope and Precariousness	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsuo, Mizuho	4. 巻 -
2. 論文標題 Living with Bodily Contingency Miscarriage Among Childless Women in India	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Life, Death and Illness in Contemporary South Asia: Living through the Age of Hope and Precariousness	6. 最初と最後の頁 194-209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 松尾瑞穂	4. 巻 46(2)
2. 論文標題 母乳は自然か？ 授乳からみる社会のかたち	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 月刊みんぱく	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 46(2)
2. 論文標題 胎毒と乳揉み	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 月刊みんぱく	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 22(6)
2. 論文標題 「言わせない声」：胎児・出生児に障害があることと養子縁組	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 臨床心理学	6. 最初と最後の頁 704-709
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 洪 賢秀	4. 巻 268
2. 論文標題 韓国社会における妊娠・出産をめぐる変化：墮胎罪の議論からのぞく	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アジア遊学	6. 最初と最後の頁 121-125
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 14
2. 論文標題 児童自立支援施設を訪ねて：児童自立支援施設からみるファミリーホームと児童自立支援施設の未来	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 社会的養護とファミリーホーム	6. 最初と最後の頁 97-115
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 編集委員、白井千晶他	4. 巻 14
2. 論文標題 里親の不適切な養育について考える - 理不尽な措置変更の回避	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 社会的養護とファミリーホーム	6. 最初と最後の頁 38-52
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶、安藤藍	4. 巻 14
2. 論文標題 インタビュー 元里子に聞く 里親家庭での不適切な養育	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 社会的養護とファミリーホーム	6. 最初と最後の頁 27-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 19
2. 論文標題 Attitudes toward Prenatal Testing and Abortion in East, Southeast, and South Asia: Based on a Survey of Women in Nine Countries	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Asian Studies	6. 最初と最後の頁 15-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14945/0002000568	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 74(1)
2. 論文標題 知的障害がある人の自立生活に対する当事者と支援者・家族の意識について：LLブック『わたしたち、こんなふうに暮らしているよ』の読者アンケート分析	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 人文論集	6. 最初と最後の頁 37-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14945/0002000055	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 77(2)
2. 論文標題 養子縁組に関わる助産ケア (2) 養子を迎えた養母の授乳支援：誘発授乳	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 助産雑誌	6. 最初と最後の頁 190-196
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chiaki SHIRAI (白井千晶)	4. 巻 -
2. 論文標題 Infertility in Relation to Japanese Parental Norms	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Sustainability, Diversity, and Equality: Key Challenges for Japan	6. 最初と最後の頁 23-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 -
2. 論文標題 「生殖革命と生殖補助医療」96-97、「コラム 代理出産」102	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 「ひと」から問うジェンダーの世界史 第1巻 「ひと」とはだれか? —身体・セクシュアリティ・暴力	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ジェンダー事典編集委員会ほか (菅野摂子分担執筆)	4. 巻 -
2. 論文標題 出生前検査・診断	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ジェンダー事典	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅野摂子、ほか	4. 巻 5
2. 論文標題 「女性の健康」の隘路とフェムテック	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 74(2)
2. 論文標題 医療者への中絶教育・研修の必要性とその背景について：イギリスの医学生への「包括的中絶教育」に焦点を当てて	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 人文論集	6. 最初と最後の頁 A27-A51
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.14945/0002000318	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 77(3)
2. 論文標題 養子縁組に関わる助産ケア(3) 乳児を養子・里子として迎える養親・里親の支援	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 助産雑誌	6. 最初と最後の頁 303-307
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 洪 賢秀	4. 巻 53
2. 論文標題 韓国社会における出生前検査をめぐる議論と社会的諸課題 墮胎罪の議論と出生前検査の意識調査の結果を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 研究所年報（明治学院大学社会学部附属研究所）	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 73
2. 論文標題 里親の複数養育の現状と課題について：里親委託率の上昇に伴う今後のあり方	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 人文論集	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.14945/00029388	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 佐野敦子、菅野摂子	4. 巻 -
2. 論文標題 ドイツの出生前検査における情報提供の課題 NIPT (Non Invasive Prenatal genetic Testing) の保険適用をめぐるアクティビストの語りから	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東京大学大学院情報学環 情報学研究 調査研究編	6. 最初と最後の頁 1-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15083/0002007277	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三枝七都子、武内今日子、石黒真里、菅野摂子	4. 巻 -
2. 論文標題 母体保護法指定医師へのアクセシビリティ医療機能情報提供制度を用いた母体保護法指定医が配置されている医療施設の調査	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 国際ジェンダー学会	6. 最初と最後の頁 165-175
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松尾瑞穂	4. 巻 -
2. 論文標題 サブスタンスの人類学に向けて	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 サブスタンスの人類学 身体・自然・つながりを問い直す	6. 最初と最後の頁 1-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuo, Mizuho	4. 巻 -
2. 論文標題 Introduction	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Life, Illness and Death in Contemporary South Asia: Living through the Age of Hope and Precariousness	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsuo, Mizuho	4. 巻 -
2. 論文標題 Living with Bodily Contingency Miscarriage Among Childless Women in India	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Life, Death and Illness in Contemporary South Asia: Living through the Age of Hope and Precariousness	6. 最初と最後の頁 194 -209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 松尾瑞穂	4. 巻 46 (2)
2. 論文標題 母乳は自然か？ 授乳からみる社会のかたち	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 月刊みんぱく	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 46 (2)
2. 論文標題 胎毒と乳揉み	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 月刊みんぱく	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 22(6)
2. 論文標題 「言わせない声」：胎児・出生児に障害があることと養子縁組	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 臨床心理学	6. 最初と最後の頁 704-709
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 洪 賢秀	4. 巻 268
2. 論文標題 韓国社会における妊娠・出産をめぐる変化：墮胎罪の議論からのぞく	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アジア遊学	6. 最初と最後の頁 121*125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松尾瑞穂	4. 巻 29 (1)
2. 論文標題 Imagined and Unimagined Relatedness: A child of 'one's own' in third party reproduction in India	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Contemporary South Asia	6. 最初と最後の頁 10月23日
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/09584935.2021.1884659	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅野摂子	4. 巻 32(1)
2. 論文標題 スクリーニング検査と受検者の視覚 - 二つのスクリーニング検査をめぐる当事者の語りから -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 保健医療社会学論集	6. 最初と最後の頁 45-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅野摂子・田中慶子	4. 巻 51(5)
2. 論文標題 (総論) 出生前検査に対する一般社会の認識	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 周産期医学	6. 最初と最後の頁 701-704
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 72(2)
2. 論文標題 出生前検査とダウン症候群を事由にした養子縁組 自己責任論と他者養育	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 人文論集	6. 最初と最後の頁 A33-A44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14945/00028654	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松尾, 瑞穂, 小川, 道大	4. 巻 -
2. 論文標題 The caste formation in Maharashtra	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 MINDAS	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松尾 瑞穂	4. 巻 110
2. 論文標題 Argumentative Sexuality : The Emergence of Population Problem and Birth Control Movements in Early 20th Century India	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Senri Ethnological Studies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 -
2. 論文標題 「第6節 静岡県出産史 - 産む人、産む人を支える地域社会」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『静岡県史 別編4 人口史』	6. 最初と最後の頁 453-475
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 -
2. 論文標題 「第2節 これからの人口出生に関する展望」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『静岡県史 別編4 人口史』	6. 最初と最後の頁 561-565
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 16
2. 論文標題 The socio-cultural context of coping with infertility: a case study from three Asian countries	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 アジア研究	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14945/00027888	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 71(2)
2. 論文標題 アジアにおける不妊への対処および非血縁的親子関係に関する態度 - ベトナム、ミャンマー、フィリピンにおける第三者が関わる生殖医療と養子縁組に関するインタビューより - (2)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 人文論集	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14945/00027866	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 -
2. 論文標題 アジアにおける出生前検査に関する研究の意義と視座	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『アジア太平洋レビュー2020』	6. 最初と最後の頁 84-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 71(1)
2. 論文標題 アジアにおける不妊への対処および非血縁的親子関係に関する態度 - ベトナム、ミャンマー、フィリピンにおける第三者が関わる生殖医療と養子縁組に関するインタビューより - (1)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 人文論集	6. 最初と最後の頁 83-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14945/00027596	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 6(1)
2. 論文標題 卵子提供で親になって以降の夫婦の関わりと当事者会の機能	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『日本生殖心理学会誌』	6. 最初と最後の頁 16-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 17(1)
2. 論文標題 不妊治療後の妊娠・出産・育児：社会学の視点から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『日本生殖看護学会誌』	6. 最初と最後の頁 31-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白井千晶	4. 巻 61(2)
2. 論文標題 Historical Dynamism of Childbirth in Japan: Medicalization and its Normative Politics, 1868?2017	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Technology and Culture	6. 最初と最後の頁 559-580
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1353/tech.2020.0053	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 松尾瑞穂	4. 巻 29 (1)
2. 論文標題 Imagined and Unimagined Relatedness: A child of 'one's own' in third party reproduction in India	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Contemporary South Asia	6. 最初と最後の頁 10-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/09584935.2021.1884659	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 洪賢秀・大久保豪	4. 巻 51号
2. 論文標題 東アジアにおける出生前遺伝学的検査の経験と認識 意識調査を手がかりに	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『明治学院大学社会学部附属研究所年報』	6. 最初と最後の頁 159 - 170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計52件 (うち招待講演 7件 / うち国際学会 16件)

1. 発表者名 白井千晶
2. 発表標題 がん治療医は里親・養子縁組をどのように情報提供できるか
3. 学会等名 日本がん・生殖医療学会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 白井千晶、菅野摂子、木村美也子
2. 発表標題 アジアにおける出生前検査の現状と障害への態度：(2)台湾の場合
3. 学会等名 日本母性衛生学会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 白井千晶、原田奈美、大西涼子、坪田明子
2. 発表標題 胎児 / 出生児に染色体の異数性等の先天的疾患が認められた男性の経験について
3. 学会等名 日本母性衛生学会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 白井千晶
2. 発表標題 東・東南・南アジアの出生前検査と人工妊娠中絶・障害の意識からみえること
3. 学会等名 Pre-Natal Diagnosis研究会 (PND研究会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 白井千晶他
2. 発表標題 医療安全における倫理・モラルそして法規範 コロナ禍における帝王切開手術適応を例にとりて
3. 学会等名 医療安全心理・行動学会第1回学術総会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 白井千晶
2. 発表標題 Prenatal Testing and Views of Disability in East Asia, South-East Asia and South Asia
3. 学会等名 XX ISA World Congress of Sociology (June 25-July 1, 2023) (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Chiaki Shirai, Repro Research Committee
2. 発表標題 No voice of women, no voice of midwives: what medicalization of maternity care during COVID-19 in Japan is teaching us
3. 学会等名 International Confederation of Midwives (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Akiko Tsubota, Ryoko Onishi, , Nami Harada , Chiaki Shirai ,Mayumi Mitogawa , Nobuhiko Hayashi
2. 発表標題 Supporting women and their families through prenatal testings : A report on activities about “NPO for Family and Baby wellness”
3. 学会等名 International Confederation of Midwives (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 白井千晶
2. 発表標題 がん経験者の養子縁組・里親制度による親子形成について 当事者・支援者インタビュー調査より
3. 学会等名 日本保健医療社会学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 白井千晶
2. 発表標題 イギリスにおける中絶のスティグマと中絶の語り
3. 学会等名 日本保健医療社会学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 白井千晶
2. 発表標題 擬制親子と若者宿：三重県答志島の寝屋子から糸満を考える
3. 学会等名 第48回糸満の歴史と文化研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐野敦子、菅野摂子
2. 発表標題 ドイツの政権交代とリプロダクティブ・ヘルス&ライツ –ドイツの産科医療の概要–
3. 学会等名 PND研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 白井千晶、佐野敦子、二階堂祐子、菅野摂子
2. 発表標題 人工妊娠中絶をめぐる社会運動と法制度 日・独・英・アイルランドの女性の中絶経験の表現と社会運動 「日本の中絶の語りを受けて」
3. 学会等名 日本保健医療社会学会大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Setsuko Sugano
2. 発表標題 Attitudes of Obstetricians and Gynecologist towards Prenatal Testing and Abortion in Japan
3. 学会等名 ISA World Congress of Sociology (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 菅野 慎子
2. 発表標題 出生前検査に対する躊躇と中絶への態度
3. 学会等名 日本社会学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 菅野 慎子、木村美也子、白井千晶
2. 発表標題 アジアにおける出生前検査の現状と障害への態度(3) フィリピンの場合
3. 学会等名 母性衛生学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 木村美也子、白井千晶、菅野 慎子
2. 発表標題 アジアにおける出生前検査の現状と障害への態度：(1) シンガポールの場合
3. 学会等名 第64回日本母性衛生学会総会・学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Matsuo, Mizuho
2. 発表標題 Abortion, Law, and Everyday Ethics in India: Women's Reproductive Choices in Everyday World
3. 学会等名 Seminar of Intimate Legal Interactions (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Matsuo, Mizuho
2. 発表標題 Being parents: Imagined Relatedness and the Reality of Substance in Third Party Reproduction in India
3. 学会等名 Public Lecture (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Matsuo, Mizuho
2. 発表標題 The Politics of Genealogy Making and Gender: Dutch Burgher in Sri Lanka
3. 学会等名 Lineage and Gender in Islam :Perspectives from the Indian Ocean World (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Matsuo, Mizuho
2. 発表標題 Reproductive Governance and Abortion in Western India
3. 学会等名 Reproductive Justice in a (Post-) Covid World (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 白井千晶
2. 発表標題 父親向けの出生前検査に関する情報提供のあり方について：小冊子作成プロセスの分析から
3. 学会等名 第63回日本母性衛生学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 白井千晶
2. 発表標題 自由報告「知的障害のある人の支援付き一人暮らしに関する支援者・家族の認識とニーズ」
3. 学会等名 日本社会学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 白井千晶
2. 発表標題 公募シンポジウム「アジアを中心にした他国の出生前検査の現状とその背景について」
3. 学会等名 日本生命倫理学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 白井千晶
2. 発表標題 がん経験者の里親・養子縁組制度利用に関する当事者経験について
3. 学会等名 日本がん・生殖医療学会市民公開講座（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 菅野摂子
2. 発表標題 中期中絶のありようと医師の視覚
3. 学会等名 2022年国際ジェンダー学会大会 ラウンドテーブルディスカッション
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 菅野 摂子
2. 発表標題 女性におけるNIPTの経験 「出生前検査に関するアンケート」より
3. 学会等名 日本生命倫理学会第34回年次大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 菅野 摂子
2. 発表標題 出生前検査 / 中絶手術と産婦人科医療の現状、そこから私たちが考えたいこと「中期中絶のありようと医師の視覚」
3. 学会等名 国立女性教育会館2022年フォーラム
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 菅野 摂子
2. 発表標題 医療のジェンダー化か、ジェンダーの医療化か、そして新たな潮流 - お茶の水女子大学 21世紀COEプログラム「ジェンダー研究のフロンティア」から20年を迎えて-?
3. 学会等名 国際ジェンダー学会「医療とジェンダー分科会」(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 菅野 摂子, 木村美也子, 白井千晶.
2. 発表標題 アジア9か国における出生前検査の国際比較調査(1) 妊娠時に受けた検査の受検状況とその要因.
3. 学会等名 第63回日本母性衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木村美也子, 菅野摂子, 白井千晶.
2. 発表標題 アジア9か国における出生前検査の国際比較調査(2) 次回妊娠時のNIPT受検意向と障害観.
3. 学会等名 第63回日本母性衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 白井千晶, 菅野摂子, 木村美也子.
2. 発表標題 アジア9か国における出生前検査の国際比較調査(3) 出生前検査への一般的な態度と障害観.
3. 学会等名 第63回日本母性衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Matsuo, Mizuho
2. 発表標題 Imagining Biological Relations: Enacted realities in Third Party Reproduction in India, Family Potential in Uncertain Times
3. 学会等名 National Museum of Ethnology (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Matsuo, Mizuho
2. 発表標題 Kinning and Dekinning in Third Party Reproduction in Maharashtra
3. 学会等名 20th International Conference on Maharashtra (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Matsuo, Mizuho
2. 発表標題 Women's feelings and choices toward reproductive uncertainties: From a comparison between India and Japan
3. 学会等名 Joint workshop on Reproductive Entanglements and politics care (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松尾瑞穂
2. 発表標題 脱魔術化の見果てぬ夢 インドの合理主義運動と信念の腑分け
3. 学会等名 第119回現代人類学研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 菅野摂子、田中慶子、柘植あづみ
2. 発表標題 人工妊娠中絶に対する男性の態度 「出生前検査に関する一般男女の意識調査」から
3. 学会等名 日本社会学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田中慶子、菅野摂子、柘植あづみ
2. 発表標題 人工妊娠中絶に対する男性の態度 「出生前検査に関する一般男女の意識調査」から
3. 学会等名 日本社会学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 白井千晶
2. 発表標題 人工妊娠中絶からみた出生システム:フィリピン、ミャンマー、ベトナムを中心に
3. 学会等名 比較家族史学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 洪賢秀
2. 発表標題 配偶子提供に関わる倫理と意思決定 躊躇と受容の要因分?配偶子提供で子どもをもつことを支援する立場の人の語りから
3. 学会等名 日本生命倫理学会第33回年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 洪賢秀
2. 発表標題 COVID-19 が終末期医療にもたらした影響- 韓国の「延命医療 決定法」の諸課題-
3. 学会等名 日本生命倫理学会第34回年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松尾瑞穂
2. 発表標題 月経の禁忌の語り方 女人禁制や隔離はどう説明されるのか
3. 学会等名 共同研究会「月経をめぐる国際開発の影響の比較研究 ジェンダーおよび医療化の視点から」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松尾瑞穂
2. 発表標題 ケア空間としての家族の境界 インドの都市中間層
3. 学会等名 みんなく公開講演会「流動化する家族のかたち 少子高齢社会を文化人類学から考える」(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Chiaki Shirai
2. 発表標題 How to choose a country for egg donation: Egg donation between Japan and Taiwan (パネルコーディネーター、パネル名はAssisted reproductive technology and Third Party Reproduction in East Asia: Japan and Taiwan)
3. 学会等名 (4S)The Society for Social Studies of Science (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 白井千晶
2. 発表標題 アジアにおける出生前検査に関する研究の意義と視座
3. 学会等名 日本家族社会学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 白井千晶
2. 発表標題 The socio-cultural context of coping with infertility: a case study from three Asian countries
3. 学会等名 The Society for Social Studies of Science (4S) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松尾瑞穂
2. 発表標題 Making and Unmaking of Relations through Third Party ARTs in India
3. 学会等名 The Society for Social Studies of Science (4S) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松尾瑞穂
2. 発表標題 インド農村社会における不妊とその苦悩への対処法 信念/効果に注目して
3. 学会等名 第8回多文化医療研究会(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松尾瑞穂
2. 発表標題 脱魔術化の見果てぬ夢 インドの合理主義運動と信念の腑分け
3. 学会等名 第119回現代人類学研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 洪賢秀
2. 発表標題 Prenatal Testing in East Asia: Differences in Information Provision and Choice
3. 学会等名 The Society for Social Studies of Science (4S) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 洪賢秀
2. 発表標題 韓国における「延命医療決定法」と「良い死」をめぐる議論
3. 学会等名 日本生命倫理学会第 29 回年次大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐久間りか、磯野真帆、菅野摂子
2. 発表標題 鼎談「リスク社会において「病む」ということ～不確実性の管理をめぐる患者の語り」
3. 学会等名 International Health Humanities Network (国際学会)
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計22件

1. 著者名 白井千晶監訳	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ともあ	5. 総ページ数 352
3. 書名 性暴力サバイバーが出産するとき～子どもの頃に性的虐待を受けた女性が出産するとき起こることの理解と癒し～	

1. 著者名 松尾瑞穂	4. 発行年 2023年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 364
3. 書名 サブスタンスの人類学：身体・自然・つながりのリアリティ	

1. 著者名 Matsuo, Mizuho, Sae Nakamura, Kenta Funahasi (eds.)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 264
3. 書名 Life, Death and Illness in Contemporary South Asia: Living through the Age of Hope and Precariousness	

1. 著者名 白井千晶他	4. 発行年 2023年
2. 出版社 ともあ	5. 総ページ数 112
3. 書名 性的虐待を受けた性暴力サバイバーの妊娠出産期の支援 ~助産師、ドゥーラ、その他の医療従事者のためのガイド~	

1. 著者名 川田牧人、松田素二（編）	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 454
3. 書名 世界の冠婚葬祭事典	

1. 著者名 ジェンダー事典編集委員会（編）菅野瑛子ほか	4. 発行年 2024年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 810
3. 書名 ジェンダー事典	

1. 著者名 山口みどり、弓削尚子、後藤絵美、長志珠絵、石川照子（編）	4. 発行年 2023年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 303
3. 書名 論点ジェンダー史学	

1. 著者名 白井千晶監訳	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ともあ	5. 総ページ数 352
3. 書名 性暴力サバイバーが出産するとき～子どもの頃に性的虐待を受けた女性が出産するとき起こることの理解と癒し～	

1. 著者名 白井千晶、菅野 摂子、木村 美也子、松尾 瑞穂、二階堂 祐子、洪 賢秀	4. 発行年 2022年
2. 出版社 自主出版（報告書）	5. 総ページ数 -
3. 書名 アジアにおける出生前検査と障害をめぐる実証的研究：アンケート調査一次報告書(全体版)	

1. 著者名 松尾瑞穂	4. 発行年 2023年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 -
3. 書名 サブスタンスの人類学：身体・自然・つながりのリアリティ	

1. 著者名 Matsuo, Mizuho, Sae Nakamura, Kenta Funahasi (eds.)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 264
3. 書名 Life, Death and Illness in Contemporary South Asia: Living through the Age of Hope and Precariousness	

1. 著者名 飯田淳子、錦織宏、浜田明範、西真如、松尾瑞穂、島園洋介、星野晋	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 288
3. 書名 医師・医学生のための人類学・社会学 臨床症例 / 事例で学ぶ	

1. 著者名 田中雅一、石井美保、山本達也、松尾瑞穂、南出和余、中村沙絵、安念真衣子、金谷美和、宮本万里、藤倉達郎、外川昌彦、菊池真理	4. 発行年 2021年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 456
3. 書名 インド・剥き出しの世界	

1. 著者名 白井千晶	4. 発行年 2022年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 256
3. 書名 アジアの出産とテクノロジー：リプロダクションの最前線	

1. 著者名 松尾瑞穂、中川加奈子、高田峰夫、中野歩美、三尾稔、田中鉄也、菅野美佐子、中谷哲弥、上羽陽子、香月法子、井田克征	4. 発行年 2022年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 322
3. 書名 南アジアの新しい波上巻 - 人・モノ・価値の流動が生み出す世界	

1. 著者名 白井千晶、姚毅、洪賢秀、松尾瑞穂、嶋澤恭子、松岡悦子、幅崎麻紀子、田間泰子、小浜正子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 256
3. 書名 アジアの出産とテクノロジー	

1. 著者名 松尾, 瑞穂, 小川, 道大	4. 発行年 2022年
2. 出版社 MINDAS	5. 総ページ数 -
3. 書名 The caste formation in Maharashtra	

1. 著者名 石坂晋哉、宇根義己、舟橋健太、小嶋常喜、松尾瑞穂ほか	4. 発行年 2020年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 304
3. 書名 ようこそ南アジア世界へ 地域研究のすすめ	

1. 著者名 川田牧人、白川千尋、飯田卓、中村潔、松尾瑞穂ほか	4. 発行年 2020年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 482
3. 書名 現代世界の呪術 文化人類学的探究	

1. 著者名 飯田淳子、錦織宏、浜田明範、西真如、松尾瑞穂ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 288
3. 書名 医師・医学生のための人類学・社会学 臨床症例/事例で学ぶ	

1. 著者名 田中雅一、石井美保、山本達也、松尾瑞穂ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 456
3. 書名 インド・剥き出しの世界	

1. 著者名 菅野摂子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 生活書院	5. 総ページ数 297
3. 書名 『子ども家庭福祉 子ども・家族・社会をどうとらえるか』第5章「生命倫理と母子保健」	

〔産業財産権〕

〔その他〕

白井千晶、菅野摂子、木村美也子、松尾瑞穂、二階堂祐子、洪賢秀『アジアにおける出生前検査と障害をめぐる実証的研究：アンケート調査一次報告書(全体版)』
 白井千晶、菅野摂子、木村美也子、松尾瑞穂、二階堂祐子、洪賢秀『アジアにおける出生前検査と障害をめぐる実証的研究 アンケート調査一次報告書(抄録版)』
<http://hdl.handle.net/10297/00029190>
 研究成果の公開情報更新は以下のサイトにて掲載予定
<https://testingasia.seesaa.net/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	木村 美也子 (kimura miyako) (80635441)	聖マリアンナ医科大学・医学部・講師 (32713)	
研究分担者	菅野 摂子 (sugano setsuko) (60647254)	埼玉大学・その他部局等・准教授 (12401)	
研究分担者	二階堂 祐子 (nikaido yuko) (40831269)	国立民族学博物館・超域フィールド科学研究部・外来研究員 (64401)	
研究分担者	洪 賢秀 (HONG HYUNSOO) (70313400)	明治学院大学・社会学部・研究員 (32683)	
研究分担者	松尾 瑞穂 (matsuo mizuho) (80583608)	国立民族学博物館・超域フィールド科学研究部・准教授 (64401)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------